

エコノス、再生エネ参入

福島への復興プロ参画

道内展開へのノウハウ蓄積

エコノス（札幌市白石区、長谷川勝也社長、011・875・1996）は、再生可能エネルギー分野に参入した。福島県南相馬市で実施される太陽光発電を使った復興支援プロジェクトに参画する。同プロジェクトを通じて再生可能エネルギー事業全体の統括や事業性評価といった運営ノウハウを取得し、再生可能エネルギー設備の導入を後押ししていく。

参加するプロジェクトは、福島復興ソーラー（東京都港区、半谷栄寿社長、03・3456・0407）が東日本大震災からの復興支援を目的に実施する「南相馬ソーラー・アグリパーク事業」。福島県南相馬市に500kW規模の太陽光発電を設置・運営する。発電した電力の一部については、敷地内で地元農業事業者が運営する植物工場などに供給するほか、残りは再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度を使って売電す

る。2012年度内にも発電設備を設置し、13年春に発電を開始する予定だ。

エコノスはリユース事業やカーボンオフセット事業などを手がける。プロジェクトの推進を通じ

て、太陽光発電や植物工場を導入する際に必要となる業者の選定や補助金の有無といった知識や、各種運営ノウハウを取得。これまでの省エネルギー支援などに加えて、道内を中心に再生可能エネルギー関連設備の導入支援業務を展開していく。